

■■アタは何を履く人ぞ？・冬■■

防寒面でも夏以上に靴は重要なアイテムとなる。冷たい地面に接する靴底からの体温流出はばかにならない。逆に言えば足元をしっかりと固めるだけで、防寒着1着に相当する体温喪失を防げるのだ。

コミケットに履いていく靴は、少なくとも防水性能を持ったしっかりとした作りのものを選んでおこう。推奨はミドルカットの軽量なトレッキングシューズと踵部分がカップ状になった『形成インソール』（中敷）の組合わせだ。

常から履いている靴で行くなら、コミケットの前夜に靴の中にドライヤーで温風を通し、よく乾燥させておくと少しだけ冷えを低減することができる。

なお、このところ毎冬流行するベタ底タイプのレザーブーツは、物によっては底が剥がれやすいので注意が必要だ。

ポイントとなるのは中敷で、現在は様々な機能を持ったものが発売され、大型靴店やアウトドアショップなどでは機能性中敷の専用コーナーを設けている所も多いので、履いていく予定の靴を持って一度訪れて試供品を色々と試してみることをおすすめしたい。

靴そのものを新調しなくても、中敷1枚変えるだけで疲労や冷えをかなり低減でき、履き心地や歩きやすさを改善することができるため、お洒落を優先した靴であっても中敷だけは追加/変更を検討してみるとよいだろう。しかも靴そのものに比べてもリーズナブルだ。



●冬のナマ足怪我の元

冬は皮膚が乾燥しやすく、また、気温が低いと皮膚表面の弾力が低下しがちになる。すると、通りすがりに他の参加者のバッグやその金具・留具などがごく軽く引っ掛かっただけで思わぬ怪我をすることがある。

周囲の参加者も自分が厚着のために、夏に比べて通路の混雑が激しく、同時に周囲との接触に対する注意力（抵抗とも言う）が低下しがちになるので、接触によるアクシデントが頻発する。特に女性陣はコスプレやスカートを着用する場合でもその下にはズボンやストッキング、タイツなどを履いて防寒とケガの防止を心がけてほしい。

また、そういった不測のケガに備え、絆創膏類は必ず携行しよう。

■■再確認！ コミケット参加者の基礎認識■■

本記事では、基本的にコミケットに参加するに当たって行っておくと当日楽に過ごせるというコンセプトの元に準備方法や装備、当日の過ごし方などについてアドバイスを行っている。

しかし、コミケットの参加者になるにはそういった装備や準備と同じくらい、あるいはもっと大切な事がある。それが、**コミケット参加者として、自分は何をしつらいのか**という認識なのだ。

してはならないこと、持ち込んではいけない物品などの注意事項はカタログや公式サイトに掲載されているが、基本的にそれらはかつて何らかの**トラブルや事故が起きた経緯があるからこそ禁止された物事**であり、それがコミケットのルールの特徴だ。従って参加者は、新しいルールを追加させないようにしていかなくてはならない。

そのためには、何をしてはいけないか、以上に、**何をしたらコミケットのためになるのか**を知ることが大切だろう。コミケットの参加者に最低限必須とされる認識（技能、と言い換えてもよい）は以下の通りだ。

自助努力

このコーナーもその為のヒントだが、安直に他人を当てにする前に自分で調べ、工夫し、考えよう。何でも公式判断で白黒付けて欲しいのは一種の思考停止だ。

注意目配

五感をきちんと働かせ、自分の周囲、会場の放送等、常に目と耳を使って何が起きているか知っておこう。まんレポのネタ探しにもなる。

相互協力

困っていそうな人を見かけたら積極的に手を貸してあげよう。貸してもらった人は次の機会に別の人を助けてあげよう。手を貸すのも借りるのも恥ずかしいことではない。